

E-Book 2.0 Magazine 2016年5月19日号

Vol.6, No.36, 5/19/2016 [無償公開版]

言語や数式は、人間の表現力/理解力に大きく依存するから、冊子本は天体のような動く対象/事象を表現できない。図を動かせれば問題はかなり解決する。スライド・チャート的一种である多重円環図は、11世紀ベルジャの知識人アル=ビールーニーの発明になると言われる。図は16世紀前半に活躍したドイツのペーター・アビアンによる21枚の同軸円盤を組合せた天体運行図、Astronomicum Caesareum (1540)。



目次

ANALYSIS & COLUMN

- VoiceView は意外とすぐに使えた 1
始動するアマゾン Goodreads 戦略 (2) : 出版社 4

NEWS & COMMENTS

- 始動する Goodreads 戦略 (1) : 販売ロボット 5
Web の発明者が語る「出版の未来」 8
米国 E-Book 市場の真実は霧の中 9

E-Book 2.0 Magazine

2016年5月19日発行 (第6巻第36号、通巻第296号)

ISSN: 2185-954X (2010年9月15日創刊)

編集兼発行人: 鎌田 博樹

発行: オブジェクトテクノロジー研究所

〒185-0003 東京都国分寺戸倉 3-15-22

www.otij.org Email : newsletter@ebook2forum.com

©2010-2016 by Object Technology Institute, Inc.

ANALYSIS & COLUMN

VoiceView は意外とすぐに使えた



Voiceview について、公式発表以外の情報が入ってくるようになったので補足したい。Kindle Audio Adapter は、Kindle 専用のもではなく、汎用の USB オーディオ・アダプタとヘッドフォンで代用可能で、VoiceView for Kindle (V4K)は、発表時にサポートされていた Paperwhite だけでなく、Oasis や Voyage などでも使えるというのは朗報だ。

USB アダプタは汎用、多くの Kindle で利用可能

汎用の USB オーディオ・アダプタは、USB ポートを介して PC やタブレットからマイクやイヤフォン、アンプなどを含むオーディオ機器を簡単に接続できるようにするデバイスで、デジタル／アナログ変換チップ(DAC)を持っている。かつては高価だったが、最近では 1,000 円もしないものがある。性能の詳細は不明だが、KAA の 20 ドルというのは、エントリー・レベルの平均的な価格といえる。

Kindle の各バージョンへの対応だが、最近のものであれば VoiceView が使える可能性は高い。音声ファイルをダウンロードして設定しなければ、音声ガイドは聴けないものがあるが、そのあたりの情報は順次公開されていけよう。E-Reader の音声環境とサービスは、インタフェースを除けば、ほとんどが非障害者にも有用なものだ。例えば障害

者とレビューをシェアしたりするには、音声が使えたほうがよい。それに画数の多い漢字や韻文、詩文などを含む書籍を読むのに音声のアシストを必要としない人は少ない。「古典へのアクセシビリティ」という点では、われわれのほとんどは障害者なのだ。

最後の問題は、日本語（多国語）対応の時期だ。スマートフォンの音声環境の整備により、日本でも音声認識技術の商用化が前進しており、日本語音声認識エンジンも、商用のほか、実績のあるオープンソースが提供されている。これらは実用化されることで急速に進化することになるだろう。アマゾンや Google、マイクロソフトは各国語の音声認識のためのデータベース環境を構築しているはずなので、汎用の音声インタフェースや TTS などでの登場はそう速くはないはずだ。なお、NTT DOCOMO の音声エージェント「しゃべってコンシェル」は、iPhone、Android 向けに無償で提供されている。

政府統計によれば、2006 年の日本の視覚障害者は、約 31 万人であると推計され、また日本眼科医会の推計によると、加齢などによる強度の視力の衰えに悩む「ロービジョン」と呼ばれる人々は、約 100 万人にのぼる。2013 年、モロッコのマラケシュで開催された WIPO (世界知的所有権機構) の外交会議で、「盲人、視覚障害者および 'print disability' (印刷物を読むことが困難) である人々の出版物へのアクセス促進のためのマラケシュ条約」(CA1831) が採択され、政府・出版業界の対応が促進される体制が出来つつある。条約の締結に先立って、2010 年施行の著作権法改正(第 37 条)が行われ、著作権者の許諾なしのアクセシブルな図書製作が可能となっている。◆ (鎌田、05/16/2016)

参考記事

- [Voiceview for Kindle Works on the Kindle Oasis and Voyage, and Other Things Amazon Didn't Tell You](#), By Nate Hoffelder, The Digital Reader, 05/12/2016
- [How to Make Your Own Kindle Audio Adapter for Less Than \\$5](#), By [Nate Hoffelder](#), The Digital Reader, 05/15/2016
- [「CA1831 - マラケシュ条約—視覚障害者等への情報アクセスの保障に向けた WIPO の取り組み」](#), By 野村美佐子, カレントアウェアネス・ポータル, 09/20/2014
- [「音声認識技術の現状と将来展望」\(PDF\)](#), By 河原達也 (京都大学), 論文

記事タグ

本誌カテゴリ： コンテンツビジネス, テクノロジー, ユーザーインタフェース, 教育, 書籍端末, 関連産業

タグ： Kindle Voice View, アクセシビリティ, マラケシュ条約

ANALYSIS & COLUMN

始動するアマゾン Goodreads 戦略 (2): 出版社



デジタル・マーケティングの基本は、モノとコトをヒトと結びつけることだが「イベント」を日常化するには特別なプラットフォームを必要とする。

「日替り特売」の有効性を5年以上前に確認していたアマゾンは、Kindleストアの外に読者コミュニティを育て、それを組合せる精巧なメカニズムを構築した。これはイノベーションといえる。 [全文=♥会員]

プラットフォームとしての「日替り特売

E-Book 市場の構造転換をもたらしたデジタル・マーケティング

無策こそ最悪の選択

NEWS & COMMENTS

始動する Goodreads 戦略 (1): 販売ロボット



アマゾンのソーシャルリーディング・サイト Goodreads は5月17日、新たに日替り販促プ

ログラム [Goodreads Deal](#) を開始した。同様のサービスでは BookBub などが知られているが、アマゾンは GR を使って対抗する。このビジネスの有効性を承認したことを意味するが、それによって GR の性格も大きく変わる。

新しい販売チャンネル

Goodreads Deal (GR-D) は、個々の会員向けにパーソナライズされた割引サービスを提供するプログラムで、会員のプロフィールに応じて、希望するタイプの値引タイトルの情報を毎日提供する。GR は出版社や著者と交渉して会員向けに大幅値引で提供可能な既刊本のリストを集め、会員の書棚に掲載してメールで告知する。BookBub などと同じく、これは有償サービスで、出版社／著者は手数料を支払う。有償なので、効果がなければ続かない。料金は、それを収益にするというよりは、アマゾンのコンテンツ販売へのコミットメントと考えるべきだろう。

GR の創業者オーティス・チャンドラー氏によれば、「こうしたセールについて会員の関心内容について聞くのは初めてのことで、会員が

リストを更新する理由にもなると思う。登録したタイトルが値引されれば、会員は機会を逃さず利用できる。」という。会員は、'Want to Read'の棚で読みたい本の書名を指定するが、会員がGRでフォローしている著者によるものが対象となったり、会員がGRの分野プログラムに登録している場合にDealを利用できる。

GR-Dは、とりあえず4つのジャンル（ベストセラー、ミステリ&スリラー、F&SF、ロマンス）を対象としている。これは、(1)需要が安定し、消費者が多種多様、(2)価格情報による刺激が有効、(3)アルゴリズムを検証・改善するのに最適、といった理由であると思われる。「特売」に反応するかどうかは消費者の性格によるが、それはメディアのつくる「話題」に反応する消費者と同じく、ビジネスの重要なターゲットで、デジタル・マーケティングの主要資源であるデータを豊富に提供してくれる。

マーケティングの両輪：プッシュとプル

アマゾンが2013年4月にGoodreadsを買収したのはそのためなのだが、会員が5,000万人を超えた（買収時の3倍）段階で、初めて本格的にマネタイズに乗り出したのである。Giveaway（プッシュ）とDeal（プル）は、そのための両輪であり、事実上最強のマーケティング・ツールと言える。アマゾンがGRをKindleのエコシステムと一体化することに3年をかけたことに注意する必要がある。そしてGRの会員はいまだに5つのストア（Amazon、Nook、Apple、Kobo、Google Play）から選択でき、GR-Dでもそれは変わらない。エコシステムは閉鎖的なものでは長期的に持続しないことを、ベゾス氏はよく知っている。

他方、同じ「日替りプラットフォーム」でニューズレターを発行する The Fussy Librarian はアマゾンのアフィリエイトとしての資格を失ったことが伝えられている。BookBub と eReaderIQ には変化が見られないので、それが特殊事例（規約違反）なのか、それとも「日替りプラットフォーム」を本気で集約するつもりなのかはまだ分からない。◆
(鎌田、05/18/2016)

参考記事

- [Goodreads Offering Personalized Daily E-book Discounts](#), By Calvin Reid, Publishers Weekly, 05/17/2016
- [Move Over BookBub, Fussy Librarian – Goodreads is Getting Into eBook Discounts](#), By Nate Hoffelder, The Digital Reader, 05/17/2016
- [Is Amazon Purging eBook Promotion Newsletters?](#), By Nate Hoffelder, The Digital Reader, 05/10/2016

記事タグ: コンテンツビジネス, テクノロジー, マーケティング, 流通・書店・図書館

本誌カテゴリ:

タグ: Goodreads, アマゾン, デジタル・マーケティング

NEWS & COMMENTS

Web の発明者が語る「出版の未来」



BEA2016 の併催イベントとして、IDPF DigiCon が 5 月 10-11 日に開催され、WWW の創始者で W3C のサー・ティム・バーナーズ=リー (STBL)が基調講演を行った。両団体の統合がハイライトとなった今回のイベントを飾るというだけでなく、「インターネットと出版の未来」を考える上でのベース

となる内容であったと思われる。[全文=♥会員]

出版の未来の 4 つの様相

本が Web になる世界

NEWS & COMMENTS

米国 E-Book 市場の真実は霧の中



先週米国シカゴで開催されていた BookExpo America (BEA2016)のパネルで、ニールセン社のケントン・ムーニー氏は、同社の Bookscan の数字として、2015年の米国 E-Book 市場が、2014 年比で 13%減少したことを明らかにした (部数ベース)。出版社協会(AAP)の数字とほぼ一致している。したがってデジタルと紙の現状は依然として霧の中だ。

「降下する E-Book 販売」はほんとうか

2014 年の E-Book の販売部数は 2 億 400 万部で、14.7%減。ピークだった 2013 年の 2 億 4,200 万部と比べると 18%減で、下げ幅が拡大している。印刷本は 2.8%増の 6 億 5,300 万部だったので、E-Book の数量シェアは 24%となり、前年の 27%から漸減した。ただし、この増加はほとんど大人向け塗り絵本のブームによるとされる。Bookscan は、約 400 社あまりの在来出版社の自己申告に基づく数字を集めた Pubtrack Digital を使用している。AAP は会員約 1,200 社なので範囲はさらに狭い。

The Digital Reader のネイト・ホフェルダー氏によれば、この統計は米国 E-Book 市場の半分しかカバーせず、自主出版はもとより、中小出

版社の多くが漏れてしまっている。問題は、レポートにそうした捕捉率について明記されておらず、E-Bookが増えているのか、減っているのかについての議論を混乱させていることだ。そのためにデジタルについての共通認識が生まれず、市場の亀裂を深めている。メディアはそうしたことを伝えないので、それぞれが属するコミュニティの共同幻想の世界の「常識」を維持することになる。

ムーニー氏の説明の中で目新しいことは、E-Bookにおけるビッグ・ファイブ(B5)のシェア（部数ベース）が2014年の38%から、昨年には34%にまで落ち込んだことだ。2012年は46%だったので、12ポイントもシェアを落としたことになる。同氏によれば、自主出版と小出版社がシェアを増やしたためというが、自主出版のシェアはまだ12%（2014年は8%）にすぎない。小出版社は26%から30%に増加した。ニールセンによる自主出版市場の推定は、6,000人の消費者を対象としたサンプル調査に基づいているという。いずれも部数のみで金額によるシェアは開示されていない。部数で34%のシェアは、金額では60%台になる可能性が強い。AERは今年1月のKindleストアの観測データをもとに、B5のシェアを40%、自主出版系は27%としている。

出版の混迷は深まる

B5が「戦略的値上げ」によってかなりのシェアを失ったことは確かだ。それは覚悟の上で、自主出版はカウントせず、ただE-Bookのシェアを押し下げるということを目標にしていたのならば、それは成功と言えるかもしれない。しかし、それによって印刷本の復活と書店の活性化まで意図していたのなら、それは達成できていない。印刷本の

復活は（塗り絵を別として）なく、出版市場は縮小した。

問題はやはり、ニールセンが把握していない市場、米国 E-Book 市場の 70%以上を占める市場で何が起きているかということだろう。それをやっているのは Author Earnings だけだが、ニールセンや Bowker とはいまだに交流がない。Digital Book World での「データガイ」登場は前向きなきっかけにはならなかったようだ。アマゾン・ランキングからの部数・金額推定は一定以上の精度を持ってコンテンツ市場の合理的な推定を行う唯一の方法で、これを無視しては、分裂した世界を統合できず、悲劇を招くだろう。

3 月の DBW2016 に続く BEA2016 が、出版界の分裂と混迷の原因である「真実の欠如」の問題に動かなかつたのは残念だった。長引くほど問題は深刻になり、デジタルのアマゾン独占の可能性が出てくる。

◆ (鎌田、05/16/2016)

参考記事

- [BEA 2016: E-book Sales Fell 13% in 2015, Nielsen Reports](#), By Jim Milliot, Publishers Weekly, 05/12/2016
- [Nielsen: Big Five US eBook Sales Down in 2015](#), By Nate Hoffelder, The Digital Reader, 05/13/2016

記事タグ

本誌カテゴリ: コンテンツビジネス, マーケット・データ, 出版・製作, 出版・製作, 自主出版

タグ: Author Earnings, BEA2016, ビジネスモデル

E-Book2.0 Magazine V6N36

Copyright © 2016 オブジェクトテクノロジー研究所

ISSN 2185-954X

発行日：2016年5月19日

発行者：鎌田博樹

発行所：オブジェクトテクノロジー研究所

185-0003 東京都国分寺市戸倉 3-15-22

Web サイト <http://www.ebook2forum.com/members/>

Email : newsletter@ebook2forum.com